

# 町民の意思が未来を決める



選挙に先立ち、立候補予定者が政策や問題の解決策を語り、有権者がそれを見て、聞いて投票の判断材料とする「公開討論会」。芝山町長選挙を前に開催された討論会には、多数の有権者が参加し、それぞれの候補者の声に耳を傾けた。

## とても大切なことだから

町民の代表として、町の未来を背負うリーダーを決める芝山町長選挙を1週間後に控えた11月17日、芝山文化センターでは「芝山町長選公開討論会」が開催された。

この会は、「自分たちのリーダーを決める大切な選挙だから、候補者のことを良く知りたい。そして他の町民にも知ってほしい」という思いから、町民有志が立ち上げた「芝山町長選公開討論会を実現させる会」が主催し、公開討論会支援NGOリンカーン・フォーラムの支援を受けて実現した。

当日、討論会では、コーディネーターの進行のもと、パネリスト（立候補予定者）が決められたテーマに沿って考えを述べたり、互いに質問し合ったりして、各々の政策や理念が掘り下

げられていった。

また、来場者から寄せられた質問の中から、多かったテーマを取り上げ、それに対する各パネリストの考えを聞く機会も設けられた。

## 未来を決めるのはあなた

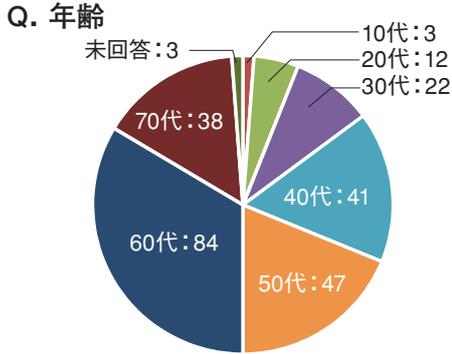
約2時間という限られた時間の中で、さまざまな試みが行われた討論会。日曜日の夜にもかかわらず300人を越える参加者が集まったことや、主催者が行ったアンケートの結果は、それだけ町の未来に対する有権者の関心が高かったことを物語っている。

町民が自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分たちのリーダーを選ぶ。町民が政治に参画することは、きっと活力のあるまちづくりにつながっていく。

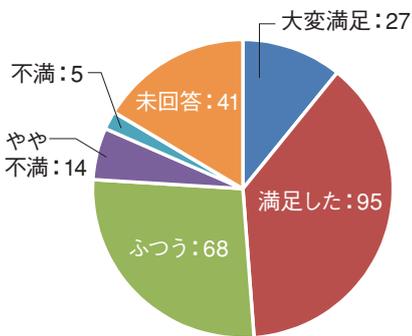
## アンケート結果 (抜粋)

回答数: 250人

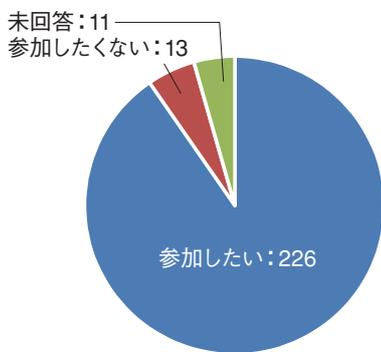
Q. 性別  
男性 190  
女性 57  
未回答 3



Q. 公開討論会に参加した感想

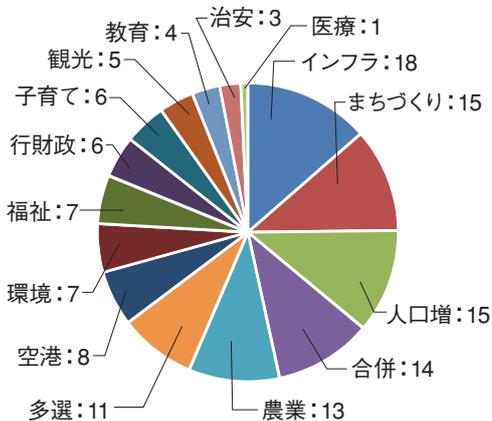


Q. 次回があったら参加するか



## 会場からの質問 (テーマ)

回答数: 133件 (複数回答)



情報提供: 芝山町長選公開討論会を実現させる会



「芝山はにわ祭」の見所の一つが、古代から現代へとやってくる古代人です。今年は42人の中学生と11人の小学生、そして2人の教員が、古代人として特別な一日を過ごしました。人生で一度きりの体験は、彼らの心にどんなことを残したのでしょうか。(敬称略)

〈過去と未来〉

つながる心